

港区まちづくり マスタープラン



芝浦港南
地区

意見交換会ニュース vol.2

令和8年1月

芝浦港南地区で第2回意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。



芝浦港南地区の第1回意見交換会は令和7年7月29日に開催し、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。第2回意見交換会は令和7年12月19日に開催し、当日は、区より、マスタープランの概要や第1回意見交換会の結果、地区の魅力・特性、課題等について紹介後、「実現したいまちの将来像」や「地区の課題を解決するための取組をテーマに意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

まちづくりマスタープランとは



港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会では、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題やまちの将来像についてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。



当日の主なご意見

— 芝浦港南地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました —

まちの将来像／将来像を実現する視点

- ・ 将来像を実現するための取組案

土地利用・活用

ウォーターフロントに賑わいと活気のあるまち(倉庫や市場等の活用)

- ・ ウォーターフロントの立地を活かし、倉庫や低未利用地を観光資源として活用する。にぎわいのない土地利用のところにショッピングモールや場外市場など、住民も利用できる施設整備を誘導する

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

生活利便施設が充実し暮らしやすいまち

- ・ 飲食店、ドラッグストア等、生活利便施設を誘致する

企業、大学、住民の連携によるエリアマネジメントが進んだまち

- ・ 地域内の企業や大学と地域住民のコラボイベントを開催し、企業や大学のまちづくりへの参加を促す
- ・ 大学や若い世代が参加できるイベントや活動を増やし、町会行事の次世代継承につなげる

道路・交通

地域内公共交通の利便性が高いまち

- ・ お台場レインボーバスの利便性向上(バス停の位置統一、Suica対応)を図る
- ・ 都バスの減便やちいばす遅延の常態を改善する
- ・ 芝浦とお台場をつなぐ公共交通を充実する
- ・ 屋形船の乗り場を整備する

歩行者ネットワークが充実し、エリア内外で回遊しやすいまち

- ・ 田町駅から海までアプローチできる軸線をつくる
- ・ 運河沿いの使われていない歩行者道を活用し、回遊性を高める
- ・ 高輪ゲートウェイ駅で分断している品川と港南を行き来しやすくする道を整備する
- ・ 水再生センターの前庭にバス・タクシーの車寄せをつくり、歩行者用の階段を設置することで、高輪ゲートウェイ駅やショッピングモールの利用を促進する

橋・運河など基盤インフラの構造的課題への対応

- ・ 芝浦運河と高浜運河との接続を強化する
- ・ 八千代橋交差点に信号を整備する
- ・ レインボーブリッジの車道両端口にあるバンプ除去

緑・水

緑・水の環境保全と屋上緑化の進んだ環境共生のまち

- ・ 運河沿いの私有地の緑地を借用可能なルールの整備
- ・ 開発の際のビル屋上緑化を必須にする
- ・ 水質改善(下水道現況調査などで原因究明)を行う

水辺のよさを感じられるまち

- ・ レインボーブリッジ下の公園付近ににぎわい拠点設置
- ・ 田町駅から見えるところに水辺を感じられる場所をつくる
- ・ ウォーターフロントの魅力を感じられるよう海辺へのアクセスルートを整える

防災・復興

地域特性(水辺、密集市街地)に応じた防災インフラが整っている防災力の高いまち

- ・ 運河沿いに災害時に備えてトイレや水道を整備する
- ・ 木造住宅密集地域の防災対応整備を推進(品川駅港南口・東口エリア)する

景観

運河とその沿道を活かした美観のまち

- ・ 運河沿いの通りの景観を整備(入口、ベンチ、統一感ある植栽、照明(ライトアップ))する
- ・ 運河の景観が暗渠にならずに20年後も残す

国際化・観光・文化

品川駅から海に連続する運河空間を活用した観光エリアの形成

- ・ T.Y. HARBORのにぎわいを品川駅まで延長(レストラン、カフェ、アート)する
- ・ 港南地区に芝浦のダイナミックな運河景観をつなげる
- ・ 運河の橋や公開空地を活用したライトアップにより、にぎわいを連続させる
- ・ ビル隙間の公開空地からの人の流れをつくる

